

梅鶯仏教壮年会報

第89号
2011年
7月17日

7月例会

期日：7月31日（日）

夜7時～8時半

プログラム

お勤め

法話

『正信偈を味わう⑭』

放談会（気楽に雑談）

仏教讃歌斉唱

~~~~~

日暮れて遠い 帰り道ー

我が家の窓に 灯（あかり）が見えて、  
ほのぼの感じる あたたかさー。

待っててくれる人がいる

そんな幸せ 感じてますか？

この世の旅の 往く先きに

待ってくださる 如来（かた）がある  
そんな幸せ 感じてますか？

「このころの掲示板」

寺川幽芳先生編よ

り

ミャンマー（旧ビルマ）  
の仏跡を訪ねて⑨（終）

副会長 森 勝昭

3月2日（五日目）前号のつづき

昼食はホテルの個室で中華料理  
でのさよならパーティー。

今回も体調が良くて、なんでも  
食べたり、飲んだりの感動の旅で  
あった。

瓜生津先生もお

元気で、車いすに

乗りながら、行っ

た先々で、上座部

仏教の仏跡・仏塔

にまつわるお話し

をして頂くことが

できました。

ただ感謝の気持

ちでいっぱいでした。

た。 仏教に関するどこかの国へ、ま

た一緒にに行けたらいいなと思っ

います。

みんな元気で旅行が出来たこと

を喜びながら、また再会出来る事

を約束しました。



夕方から帰国の準備。  
19時40分ヤンゴンからバン  
コク経由で名古屋国際空港へ。

朝の7時10分

頃無事に到着。

着いたらそこは

冬だった！！

途中、関ヶ原付

近で雲行きが・

米原近くになっ

たら小雪がちらち

ら・

旅は帰るところがあるから楽し

いのであって、もしも片道切符だ

ったなら・

梅鶯仏教壮年会報第1号に、長浜市

願通寺住職の寺川幽響先生の言葉を

を載せて頂いています。

人生は旅である。

たしかに旅である。

そのたびの行方は二つ

◎無宗教者の人、無信心者の

・ ・ ・ 墓穴（ほけつ）への旅

◎真実信心の人

・ ・ ・ 浄土への旅

旅は旅でも大違い

これから法縁を大事にして聴



聞をかさね、「今」を大切に生き  
続けたいと思います。合掌 完

# 題材法話

## ○正信偈を味わう<sup>⑬</sup>

七高僧の最初の龍樹菩薩は「お釈迦様の本意が南無阿彌陀仏のみ教えにあつた」ことを明らかにされました。そしてその龍樹菩薩様に次いで浄土の教えをひろめられたのが天親菩薩さまです。○天親菩薩さまは、西インドのガンダーラの出身で、日本の古墳時代（5世紀ころ）の方です。天親菩薩は名前に「親」の字を頂かれたことから「親鸞聖人は名前に「親」の字を頂かれたことから「まを浄土真宗の第二祖と仰ぎ、尊ばれました。浄土教だけでなく、いろんな思想信仰や学術に大きな影響を与えられました。正信偈で天親菩薩様にうたい詠われているのは十二句あり、順に味わいたいと思います。天親菩薩造論説帰命無碍光如来



この2句では、天親菩薩様の「浄土論」という書物の通り、私はお釈迦様の往生してを任せて、告白されていいます。天親菩薩様は、数多くの書物を著されて、仏教史上すぐれた足跡を残されました。夫が、どのようになされたか、人間のところの研究、唯識」という学問を大成された。な影響を与えられました。○最後は「なりお念仏」にたどり着かれたのが最後。仏の世界で、浄土論の最初に「お釈迦様、私はただ、心に阿彌陀さまに帰依し、ことを願います」と力強く告白され、あまねく人々に浄土往生を勧められたのです。依修多羅眞実光闍横超大誓願この2句では、お



釈迦様の説かれた仏説無量寿經により、南無阿彌陀仏の名号の第十八願のみを絶対他力の第十八願のみを教えを明らかにされたことを詠っています。では、何故に私達が救われるのか。お念仏のみ教え。しかあり得ないのか。お釈迦様の説かれた天親菩薩は、お釈迦様の説かれた天親菩薩は、量寿經をもとに、南無阿彌陀仏の名号（眞実）の明らきとして詳しく示しているのです。この阿彌陀様の絶対他力の「はたらきを横超の大誓願」と示されているのが特徴的ですが、この「横超」の意、実は以前にも述べました。が、実に味わい深いものがあります。今一度味わってみたいと思います。○横一足飛びの世界ある一匹の虫が竹の中に閉じこめられました。性が虫には上へはい上がる習性があり、その虫もなんとか外に出ようと、上にある節を食い破るのです。が、その節



があり、あいかわらず竹の中の世界でした。が、破り、登っていくのを食べ、容易に竹の世界から抜け出ることはできません。あるときふと横から一筋の光が差し込まれ、その光に誘われるままに横へと進んだならば、一足飛びに外の世界へと超えることができるました。虫にとつては、たてに進むのが道理にあって、たての世界なのですが、その道理では、はかり知ることの世界になかった横に超える世界によつて救われたのです。これが「横超」です。一つひとつの節を食い破り、たてに迷いの世界を超越しようとするのが、自力聖道門の世界です。これに対して、阿彌陀さまの呼び声によつて、横に一足飛びに迷いの世界を超え、眞宗の世界であります。以下次号 仏壯5月例会より

